

# ピスリア

## 輝く夏

日本の花火は、丸くてきれいですね。という声に反応して 本で調べたら、標準的な打ち上げ花火は円筒形、色鮮やかな垂れ花火が標準的らしいそうです。効率を求めれば、円筒形でしょうか？ 効率って何の？ 花火はきれいに見えて花火だよ。効率も何もないべなあ。



この花火は日本一。これは花火大会が開かれる町では良く聞く言葉です。そう、意気込みは様々。ここのは祈りの花火らて。あの空襲(戦争)を思う花火がよ。あの夜とは、1945年の8月2日であった。その街は焼かれ、子供から年寄りまで命を落とした。まあ鎮魂って事も言うさねえ。来年も、その次も花火が見られるって、ありがたい世の中だなぁって、私らは思う。という言葉思い出す。夏は霊を迎える季節でもある。盆にも花火が打ち上げられる。



## 日本の夏 花火大会は数知れず

花火の起源は、紀元前3世紀の中国で硝石(硝酸カリウム)の発見に遡るといふ。日本では蒙古襲来時の火薬に驚く武士団の様が絵巻物に伝えられているが、鉄砲の伝来まで火薬類の記録は定かではない。花火を鑑賞したという記録は天正17年(1589)伊達政宗、慶長13年(1613)に徳

川家康となるらしい。江戸時代には大川(隅田川)の花火が有名になった。花火は人気が高く至る所で打ち上げられたが、江戸名物の火事の原因ともなったため、花火禁止令が出されたという。鍵屋の屋号を持つ花火専門業者が登場し、さらに天保年間には玉屋の登場もあり、両国の花火は両者の競演により大いに賑わったという。明治になってヨーロッパから火薬がもたらされ、現在の花火の色になったという。

江戸時代の人々を魅了した花火はどんな色だったのだろうか？

機械化が当たり前の今でさえ、打ち上げ花火の製造工程は、ほとんどが手作業である。半球状に火薬玉と詰めたものを二つ合わせて球状にする。確かな技術と工夫、そして、細心の注意が花火を作りあげる。夜空に開くイメージを火薬の配合、玉の配置に写すのだ。そして、夏。歓声と共に一瞬の夏は終わる。打ち上げの翌日から、次の夏に向けた準備が始まるのだ。来年の夏も花火が見られるように日本の夏は平和を手にした夏でもあったはずである。



### 目次

新任教官が薦める本 (1)	永川 元	2
新任教官が薦める本 (2)	柴田公彦	3
新任教官が薦める本 (3)	道上達広	4
図書館への要望		5
メタデータの登録活動・紀要ポータルの紹介		7
図書委員名簿・夏休みの図書館		8

## 私のお薦め本

物質工学科教官 永川 元

科学の専門書や科学の啓蒙書でも良かったのですが、専門の方は他の人に任せて、私自身の世界観にいくらかの影響を与えた本を紹介したいと思います。

多分、この著者名は多くの方がご存じだと思うのですが、「塩野七生」の3部作を紹介したいと思います。

「コンスタンティノーブルの陥落」

「ロードス島攻防紀」

「レパントの海戦」

それぞれ、新潮社からハードブックも文庫本も出ています。

私自身としては、多少高いですが、ハードブックの方が読みやすいと思います。

「コンスタンティノーブルの陥落」

東ローマ帝国の首都として一千年余も独自の文化で栄えたコンスタンティノーブルが、15世紀後半、オスマン・トルコ皇帝マホメッド二世の攻撃により、その首都が陥落するまでの話です。地中海に君臨した首都をめぐる、キリスト教世界とイスラム世界との激しい戦いを、歴史絵巻として描いています。

この「コンスタンティノーブルの陥落」は「ロードス島攻防紀」「レパントの海戦」と続く戦記3部作の第一弾です。

ローマ帝国といっても西ローマ帝国と東ローマ帝国との関係、西ローマ帝国崩壊後の各都市国家と東ローマ帝国との関係、ローマカトリック教会とギリシア正教会との関係、キリスト教とイスラム教の関係などについて、高校で使う世界史図説を引っ張り出し、歴史的な背景を勉強しながら読みました。陥落までの戦いは、ワクワクして一挙に読んでしまいました。

「ロードス島攻防紀」

三部作のうち、「コンスタンチノーブルの陥落」に続く、第二弾。

コンスタンティノーブルを陥落させ、地中海制覇を狙うオスマン・トルコ。

キリスト教世界の最前線であるロードス島を守る「聖ヨハネ騎士団」。この小さな島での両者の戦いの攻防を描いた作品です。

「聖ヨハネ騎士団」が、この物語で大きな役割をし

ています。もともと「聖ヨハネ騎士団」とは、傷ついた十字軍兵士を看護するような目的で結成されたもので、聖職者と同様に、一度入団すれば死ぬまで団に属し、妻帯しないと決まっていたそうです。

十字軍と言えば、高校で習ったとき、略奪や姦淫までした墮落した兵士を連想していましたが、この騎士団は何と素晴らしいことか!!! 私の十字軍のイメージを変えてしまった。かれらのロードス島という小さな島での戦いぶりは、壮絶の一語です。まさに戦いの疑似体験ができます。ちなみに、同騎士団は現在でもちゃんと活動しているそうです。

「レパントの海戦」

地中海を舞台にした物語の最後を締めくくる第3部。

海洋国家ヴェネツィアとオスマン・トルコとの海戦を描いています。ヴェネツィアがスペイン王フェリペ二世の手助けを受け、西欧連合艦隊を作り上げるまでの苦労、艦隊司令官の恋物語を織り込み、クライマックスであるレパントの戦いへと一気に進んでいく。トルコの無敵艦隊を破る秘策とは？

世界史に残る3大海戦の一つ。日本海海戦も入る??

ガレー軍船に一度乗ってみたい。(私の望み)

この3冊が読み終わって、もっと中世ヨーロッパ(地中海)について知りたいと思ったなら、同じく塩野七生著「ローマ人の物語」をお奨めします。これもこのごろ文庫本ができて、続々発刊しています。

以上、私(永川)のお奨め本、紹介でした。

図書館蔵書結果

塩野七生著

ローマ人の物語 1~10

などがあります。



ビジュアルな「痛快ローマ学」が出版されています。

# 暑い夜には怖い本？

物質工学科教官 柴田公彦

私が勧めるのはレイチェル・カーソン著「沈黙の春」(Silent Spring)とシーア・コルボーンらによる共著「奪われし未来」(Our Stolen Future)である。2つの本は化学物質による環境汚染問題を告発したということで共通している。どちらも、ホラーより怖い本であるので、暑い夜に読んでみてはどうだろうか。

「沈黙の春」の原著Silent Springは1962年に発表されているが、当時は科学技術が急速に発達し化学物質が大量に製造・使用された時代であった。カーソンは、環境中に撒き散らされた有機合成農薬などによって多くの野生生物が死ぬだけでなく、食べ物を通して農薬が人間の体内に入り、ガンが多発することなどをこの本によって警告した。これがDDTなど危険な農薬の使用禁止のきっかけとなったのである。現代社会が直面する問題を、化学物質の便利さばかりが目されていた時代に正確に指摘したカーソンの観察力には驚かされる。人類にとって有用であったはずの農薬が、地球環境の破壊を招くということを世界で初めて告発したこの本は、現在、環境問題を真剣に考えなければならない我々にとってのバイブルといえる。

そして1996年に刊行された「奪われし未来」は、現代版の「沈黙の春」といえる。6、7年ほど前に、“カップ麺の容器から化学物質が溶け出すので、そ

れを食べると子供を作れなくなる(?)”など、いわゆる「環境ホルモン」問題が盛んにマスメディアで報道されたことは覚えているだろうか？ その騒動のきっかけとなったのがこの本である。この本では、合成化学物質(環境ホルモン)が子どもの知能低下、学習障害、注意欠陥多動性障害、また、ヒトの精子数の激減、生殖器の異常による生殖能力の低下など、われわれ人類の次世代へ大きく影響を及ぼす諸問題について警告している。本は厚く、聞き慣れない化学物質名などが出てくるのではじめは取っ付きにくいかもしれないが、内容は身近に感じられるものが多く、著者らが野生生物に見つけた異常の原因を探っていくという、いわば推理小説のような展開になっているので、学生の皆さんにも十分読めると思う。最近、マスメディアで「環境ホルモン」という言葉をほとんど聞かなくなってしまったが、決してこの問題が解決したわけではないので改めてこの本を読んでもらいたい。

ところで、“子供の頃、身のまわりでよく見かけた小動物、鳥や昆虫を、最近は見かけなくなった”、などということはないだろうか？ もしそれが化学物質の影響だとしたら・・・これらの本を読んでそんなことを考えると、とても恐ろしくなる。

## 図書館蔵書

80-102 沈黙の春 生と死の妙薬 新潮文庫  
レイチェル・カーソン 著 青樹築一 訳

沈黙の春 レイチェルカーソン著 新潮社  
ISBN: 4-10-519703-7  
ISBN: 4-10-207401-5 (文庫)

## 目次

明日のための寓話	負担は耐えねばならぬ
死の霊薬	地表の水 地底の海
土壌の世界、	みどりの地表
何のための大破壊?	そして、鳥は鳴かず
死の川	空からの一斉爆撃
ボルジア家の夢をこえて	人間の代価
狭き窓より	四人にひとり
自然は逆襲する	迫り来る雪崩
べつの道	



失われた森 レイチェル・カーソン遺稿集 /  
レイチェル・カーソン/著 リンダ・リア/編 古草秀子/訳  
集英社 ISBN: 4-08-773325-4

センス・オブ・ワンダー  
レイチェル・カーソン/[著] 上遠恵子/訳  
新潮社 ISBN: 4-10-519702-9

海辺 生命のふるさと /  
レイチェル・カーソン/著 上遠恵子/訳  
平河出版社 ISBN: 4-89203-135-6

# 学生に勧める本

一般科教官 道上 達広

(1) 三国志 (全八巻) 吉川英治 講談社

知っている方も多いと思いますが、正史「三国志」、「三国志演義」などを元に書かれた壮大な歴史ドラマです。中国の後漢、霊帝の時代からおよそ百年にわたる治乱興亡が描かれています。

中国は日本にとってお隣の国なので、これからもっと仲良くしていくためにも、是非読んでいただきたい本です。というのも、中国の物の考え方、文化を知ることのできる本だからです。三国志には様々な人物が登場し、多くの人の出会いがあります。

漢末の乱世の英雄の輩出する様はとても興味深い。その多くの登場人物の行動を通じて、中国人の価値観などを学ぶことができます。それは底流のところまで現在にも当てはまるでしょう。

魏・呉・蜀の三国が争う時代ですが、三国志の中心は何と言っても劉備と曹操の二英雄の対立です。桃園に集まり義兄弟となった劉備、関羽、張飛は、乱世を救うべく民衆のために立ち上がる。仁徳の政治を行う劉備は古代の聖王の流れを汲む、中国の人々にとって理想の王であります。彼の治下、人々は喜々として生活を楽しみ、彼が戦いに破れ荒野を流浪する時、幾万の人々が後を慕ってついていきました。それに対して曹操は、建て前は民衆のために中国を統一すると言っていますが、仁徳もなく多くの部下を斬首して平然としている人物です。その彼らの攻防を吉川英治は鮮やかに描いており、時には歴史上の悪役・曹操も視点を変えてヒーローに仕立て上げている点が面白いところ です。

劉備玄德、諸葛孔明らによって興された「蜀」の国は、劉備玄徳の死後、その子供の劉禅によって引き継がれることとなります。しかし、劉禅は何の不自由もなく育てられたこともあって、皇帝の器ではありませんでした。最後は、曹操の興した魏によって滅ぼされてしまいます。その後、降人となった劉禅は魏の都で平凡な余生を過ごします。

劉禅がもともと皇帝の器ではなかったという、次のようなエピソードがあります(吉川英治の原作そのまま引用、解釈にはいろいろあります)。

ある時、(降人となった)彼(劉禅)の心情を思いやって、魏人の一人が彼の邸を訪うて面接したとき、試みに、「魏に来て、日常のご不自由はないでしょうか、何かにつけ、蜀のむかしを思い出されて、折には、ご悲嘆にくることもおありでしょうか」とたずねてみた。すると、凡庸な彼は、「いやいや魏のほう、はるかに美味もあるし、気候もよいから、べつに蜀を思い出さうなこともありません」と、いっこう無表情に答えたということである。この無感情が、大悟の無表情でもあったなら偉いものであるが、彼の場合は、現れたとおりの、懸念なしであるからまことに哀れというほかにない。

劉備、関羽、張飛、諸葛孔明が、民衆のためにと、あれほど苦勞して、命を投げ捨てて作り上げた「蜀」の国が、何の苦勞も知らない劉禅の時代に滅ぼされる。これは劉禅一人が無能だったと言って笑えばすむことかもしれません。しかし、現代の我々に置きかえてみてはどうでしょう？我々の便利な生活や、基本的人権が守られているのも、第二次世界大戦など多くの犠牲の上でやっと実現したものではないでしょうか？そう考えるとき、一日一日を無駄に過ごさず、世の中の動きを把握して充実した毎日を送るべきだと思いました。

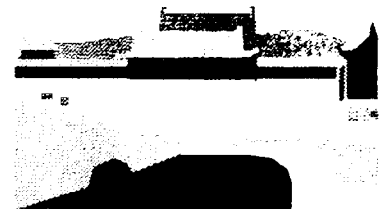
古典文学を読むことは、自分の中に多くの登場人物を従え、多くの考えを自分の中で戦わせ、自分をより客観的に見ることができると言った人がいます。吉川英治の三国志は全八巻と読むのは大変かも知れませんが、頑張って読む価値はあるので挑戦してみてください。

(2) DORAEMON VOLUME1~6巻

(小学館イングリッシュ・コミックス/780円+税)

原作：藤子・F・不二雄 訳：ジャレックス

英語の勉強という頭が痛くなる人も多いかと思いますが、私自身英語は苦手ですが、これからは国際社会なので英語ができなければ話になりません。私自身、なんとかものにしたいと思っています。そこでお勧めなのが「ドラえもん」の英語版です。この本は基本的には英語で書かれているのですが、コマの外に原文が書いてあるので比較しながら読むことができ、とても楽しく英語を学ぶことができます。特に日常使うフレーズを厳選した話を載せてあるので、この場面にはこう使うんだとわかりとてもためになります。私自身、ドラえもんを読んだのは20年ぶり？なので話がとても新鮮でした(笑)。



図書館蔵書

三国志(吉川本)は蔵書にありませんでした。

075881 三国志ハンドブック

竹内良雄 編 三省堂

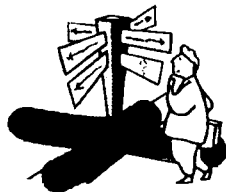
95-098 三国志の風景 カラー版写真紀行

小松健一 著 岩波書店 などがあります。

# 図書館への質問&要望・・・



図書館への質問&要望



図書館への注文？ 要望

もしかしたら、FAQ

図書館の？ こうなるといいなあ など

素朴な質問と要望などを寄せてもらえたので、掲載します。

自動ドアを通過して中へ入ると、綺麗なお姉さんが「こんにちは」と笑顔で出迎えてくれる。入ってすぐの端末に、書名を入れて検索をかけ、お目当ての本がピックアップされたらそれをクリック。そうすると自動的に本が用意されてきて、これで今日の図書館訪問は終了。

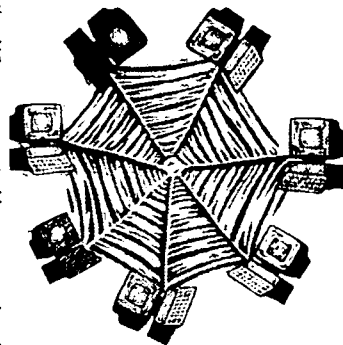
…なーんてこと、あるはずがないですね。お題の「図書館への要望」に合わせて書いてはみたものの、いささか非現実的すぎました。さて、それではもう少し現実的で建設的な要望を出してみましよう。

とりあえず、自分が借りた本の返却期限がいつかわかるシステムがほしいと最近思います。現在の方式ですと、借りたときにしか返却期限を確認できないですよ。そのときにちゃんと覚えろと言われてしまえばそこで話が終わってしまうのですが、うっかり忘れてしまうことがたまに…いえ、よくあるのです。そういうときに、図書館内の端末やインターネット、さらに言うなればブラウザフォンなどを使用して調べることができたら便利だと思うのですが、いかがでしょうか。学籍番号とパスワードを入力すれば、自分が借りている本の書名・冊数・返却期限を知ることができる。そんなシステムがほしいです。昔の図書館のように、図書カードに返却期限を記録するという方法でも十分要望に合うわけですが、それですと手間がかかってカウンターに列ができてしまいます。せっかく貸し出し記録をデータベース管理しているのですから、それを改良して利用すればよいのではないのでしょうか。

データベースの改良を伴うアイデアを持ち出したので、ついでにもう一つ。インターネットで図書館の蔵書を検索して、検索対象の本が貸し出し中だった場合、その本がいつ返却される予定かがわかれば便利なのではないでしょうか。本がいつ返されるかというのは到底予測できませんから、あくまで「返却予定日＝返却期限」という形になってしまうでしょう。それでも、いつならその本を借りることができるか、という目安にはなると思います。さらに発展させて、「読みたい本が返却されたらメールでお知らせ」なんて機能があるとさらに便利になりそうです。

上記の要望は2つともインターネットを利用したアイデアですが、その他にもインターネットをもっと有効活用すれば、学生の意見が反映されやすい図書館になると思います。例えば、ネット上から蔵書に加えてほしい本のリクエストができたり、本の人気投票を行ったりできれば、学生にとって図書館がもっと身近なものになるのではないのでしょうか。本を貸し出すだけが図書館ではなく、本と学生の橋渡しをするのも図書館の役目だと思うので、もう少しこんな要素があってもいいのではないかと思います。

そんな風に図書館について色々と考えてみても、手始めとして図書館にある端末を増やしてもらわないとうとうにもならないかな、なんて思う今日このごろでした。



**回答** リクエストボックスは閲覧室に用意してあります。希望者の名前がわかれば、優先的に貸し出しをするなど一定のサービスは行っています。現在、返却が遅れている人には個別に連絡をしています。予約もある程度可能ですが、電子化を進める図書館の課題として、今後検討したいと思います。蔵書検索で見つからない本であっても、その本を所有している図書館から借りるなど、図書館のネットワークを利用する方法がありますので、相談してください。

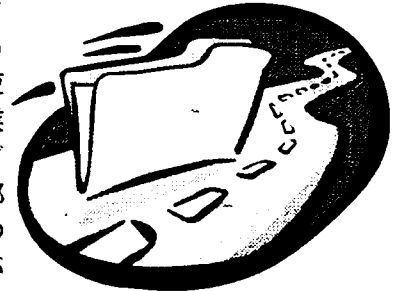
## その2

前期中間試験の期間中、図書館に行ってみると多くの学生が図書館を利用して勉強していました。僕は、ロシア語の勉強をするために図書館へ行き露日辞典を使用していました。毎年、毎回のように目にしているのですが、テスト期間中は利用者が急増します。しかし、テスト期間が終了後に行ってみると、その様子とはうってかわって利用者がほとんどいないように感じます。では、なぜ普段の利用者はそんなに少ないのでしょうか。

まず、学生が興味を持っている本や必要な本が置かれていないということが考えられます。文献や専門書が多くあるということは、高専の図書館としての最も大切な役割を果たしていると言えるでしょう。現在の高専の学生にとっての図書館とは、レポートのための参考文献を借りる場であったり、仲間と一緒に勉強をするような場であったりすることが多いのではないのでしょうか。

もう一つの理由として、蔵書の検索がしにくいという点が考えられます。高専の図書館の利用者で、自分が読みたい本を探すときに10進分類表を参考にする人はあまりいないでしょう。蔵書の検索にはいくつかの方法がありますが、一番簡単なのはコンピュータを使った検索だと思います。福島高専の図書館には、蔵書の検索用として3台のコンピュータが設置されています。いわき中央図書館にも、福島高専と同様にコンピュータによる検索システムが設置されています。そこではコンピュータは常に起動しているので、利用者はすぐに検索ができます。また、操作にはキーボードを使わないので、コンピュータの操作に慣れていない人でも簡単に検索ができます。さらに、検索をするとその本がある場所が画像で表示されるので、利用者にとって非常に便利です。

図書館が利用者に求められていることは、書籍やデータなどといったのコンテンツの充実と、利用者がそれを引き出しやすい環境をつくることにあると思います。福島高専の図書館では、卒業論文のデータがコンピュータを使用した検索・閲覧ができるように、検討されているようです。例えば、卒業論文を書くときに、過去に同じような研究をしている人がいればデータなどを参考にできるでしょう。しかし、現状では何10冊もある中から必要な部分だけを探すのはとても大変です。さらに、1冊が何100ページもあるのでコピーするのも難しいです。もし、コンピュータを使っての検索や閲覧が可能になれば、このような手間はなくなるでしょう。今後このような図書館になってゆけば、高専の図書館としての価値が高まり、利用者も増えていくのではないのでしょうか。



**回答** 大変前向きな提案ありがとうございます。図書館では、印刷された卒業論文を学科単位に冊子化しています。図書館で受け取った時点で電子化するのは効率的ではありません。指導教官、学科の取り組みが必要になります。また、電子化された場合も、ファイルの管理などの作業は情報処理教育センターなど多くの方々の協力なしには進められないと思います。ただ、公開した場合、著作権上の問題が発生することも考えられますので、卒業論文の作成時にも著作権を尊重していただきたいと思います。

## その3

研究費による図書購入方法を改善できないのでしょうか？ たとえば、必要な書籍を書店で購入し、領収証を係に提出する。代金は研究費から払えないか、ということです。必要な時に必要な本をすぐに手にいれたいのです。購入請求後、本が来るまでずいぶん時間がかかるので、研究費で購入するのが適切な本を自費で購入したことが結構あります。また、図書館に発注した本が届いているのに、なかなか手続きが終わらなくて、さらに待たされたと感じたこともありました。ネットショッピングで注文すれば、3日でいわきに届くのに2ヶ月以上も待たされるのは、かなり改善の余地があるのではないのでしょうか？

**回答** 必要とされる本をできるだけ早く提供することも図書館の仕事ですが、図書の購入手続きは法律で規定されているため、柔軟な運用には限りがあります。少しでも改善できるように会計部門と調整していきたいと思います。こちらの処理についても検討したいと思います。(図書係)



## メタデータの登録活動について

国立情報学研究所では平成12年度から「メタデータ・データベース共同構築事業」を進めています。この活動は主として国内の大学・高専、研究機関等が、インターネット上において発信している学術情報資源のメタデータをデータベース化して、学術情報の円滑な流通を図り、各大学の研究成果を広く世界に発信することを支援するものです。集積されたデータは、国立情報学研究所の学術コンテンツポータル"GeNii"を通じて内外へ提供され、その利用者が各機関サーバや学内コンテンツにアクセスする手がかりとして機能します。

現在、本校図書館もこの活動に参加するための登録申請を行っています。

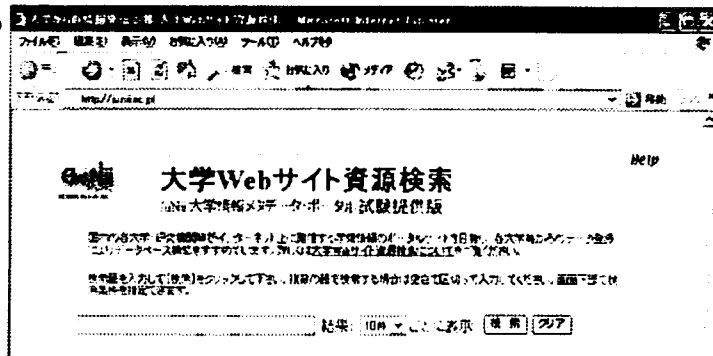
将来的には図書館にある資料だけではなく、ネット上に存在する「価値ある情報資源」も利用者に提供することになるでしょう。そのときOPACで図書と同様にメタデータもさがしだせるようにするための準備を開始しています。

メタデータ：「データについてのデータ」という意味で使われています。

OPACに使用しているデータベースに蓄積されたデータ（書名、著者名、出版年など）も一種のメタデータです。こうした目録情報だけではなく、インターネット上に存在する情報資源やそれをさがすための

メタデータ検索画面

<http://ju.nii.ac.jp>



### 検索できる情報

研究成果 — 大学の研究成果

( 論文 学術雑誌 論文リスト 研究プロジェクト シンポジウム・講演会等 その他 )

研究資源 — 研究活動に有用な資源

( 実験データ・統計データ ソフトウェア 電子辞書等 )

研究者 — 研究者情報、研究者・研究室のホームページなど

( 研究者のホームページ 研究室のホームページ 研究者リスト 研究者データベース )

大学教育 — 大学教育に関する情報

( 講義情報・シラバス等 電子教材 )

コレクション — 図書館や、そのコレクション

( 図書館のホームページ 図書館資料の案内・紹介 デジタルミュージアム )

参考情報 — 情報検索サービス、リンク集

( データベース 文献目録 WWWリンク集 メーリングリスト )

広報 — 大学や学部のホームページ、広報資料

( 大学のホームページ 学部等のホームページ 広報資料 )

特殊コレクション — 大学が所蔵する特色ある資料

岡山大学「池田家文庫」 広島大学「教科書コレクション」

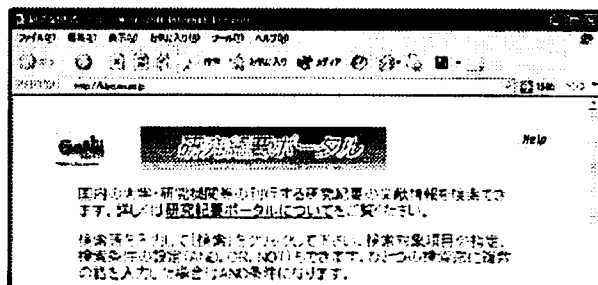
北海道大学「北方資料データベース」

研究紀要の検索サイトも用意されています。

次のURLにアクセスすると“紀要”の検索が可能です。

<http://kiyo.nii.ac.jp>

高専では38校が登録しています。



平成15年度学生図書委員名簿

	1年	2年	3年	4年	5年
機械工学科	高野孝治	片寄健二	門脇慶介	緒方順一	大竹 伸幸
	林龍太郎	金井剛紀	後藤 敦	増子将弘	加藤 久幸
電気工学科	大澤昇平	伊藤翔太	野木祐介	石田大和	宮城 敦吏
	加藤 歩	樋田雄士	松本靖史	國井浩智	山ノ内暁人
物質工学科	赤津理沙	大林洵	折笠将樹	小野裕樹	茗花 朋希
	林香穂里	山崎正弘	根本奈都子	平尾まるみ	本田 隆也
建設環境工学科	佐藤優介	近藤由香	関友則	相川なつみ	志賀 裕美
	鈴木 潤	坂本知佳子	高橋寿明	坂本和仁	福島 麻美
コミュニケーション 情報学科	山崎貴博	遠藤祐輔	大平友加里	佐久間美菜子	草野 彩
	吉田千春	野崎恭平	菊地舞子	柳沼守	村上 律子

夏休みの図書館



夏季休業特別貸し出し：7月14日～18日まで

開館期間：7月31日まで  
(9時から17時まで 土日は閉館です)

閉館期間：8月 1日～8月31日まで (蔵書点検のため)

特別帯出図書の点検も実施しますので、ご協力お願いします。

書庫、閲覧室の利用について

「静かに」 本を読む、資料の調査するための図書館です。  
周囲に迷惑をかけないように利用してください。

残念なことに 禁止事項を書かなければなりません。

- ・ 飲食を禁止しています。持ち込みも遠慮してください。
- ・ 携帯電話の使用を禁止しています。電源を切ってください。  
(放課後も利用しないでください)

書庫で喫煙した形跡がありました。禁煙と書かなければなりませんか>学生



ひとこと ・望ましい図書館にするためには、足りないところを補えばよいのですが、結構大変です。簡単ならできてたっしょ 電子化して軽く聞こえますが、データの入力、信頼性維持のための見えない作業をどうするか。権利関係の確認・・・山積みです。問題と課題、ご協力の程、よろしくお願いします。(う)  
・タイピング早くなりました。(A)

・お叱りを受けました。素直に申し訳ないと反省していたのですが、ついでにあれもこれもと言いつけられて、さらに、お前が悪いなんていい続けられると、逆効果。ちょっと言葉が過ぎるんじゃないですか と気がつけばあの反省がどこかへ行っていました。また、反省です。ただ、そんなに溜めずに、軽くおっしゃって下さい。環境に優しくお願いします。

